

## 令和4年度事業計画

### 1 基本方針

令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態により、私たちの暮らしや社会経済活動は大きく変化し、当センターの活動も大きな制約を受けたが、同時にこれまで進めてきた様々な事業について、コロナ禍を踏まえた事業スタイルへの変革に取り組む貴重な機会となった。

こうした中で令和4年度については、基本方向としての①府域全域での事業展開、②地域社会の課題解決への貢献、③多世代交流の促進の3つの視点を引き続き重視して施策を推進するとともに、コロナ禍で試行してきた小規模分散型イベントやリモート講座等の事業形態をウイズコロナ時代のニューノーマルとして確立していくことに努める。

加えて、令和3年度に実施した“京都 SKY センターの今後のあり方検討 2021”の成果に基づき、事業・財務・組織の三位一体改革を全力で推進し、向こう3年を目途に単年度予算の赤字体質からの脱却をめざす。

### 2 事業計画

#### (1) 情報発信・啓発関連事業

##### ①「全国健康福祉祭（ねんりんピック）参加者派遣事業」

コロナ禍により2年間未開催となっていたが、令和4年度は11月12日（土）～15日（火）に神奈川県内で開催される「第34回全国健康福祉祭 神奈川・横浜・川崎・相模原大会」に参加者を派遣し、健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図る。

併せて、参加者の経験を地域でのふれ合いと活力ある長寿社会づくりに活かすため、地域活動への積極的な参画を促す。

##### ②「SKYふれあいフェスティバル2022開催事業」

シニアの健康保持・増進、ふれあい、生きがいの高揚を図るとともに、多様な世代が人生100年時代を体感し、ともに考える機会を提供するため、コロナ禍でのニューノーマルとして、大人数の密集を回避すべく4つの小規模分散型イベントにより実施する。

イ「SKY ふれあいフェスティバル 2022 (SKY100 年フェスタ 2022)」

- ◇開催日 令和 4 年 12 月 3 日 (土) 4 日 (日) (3 日は午後から開催)
- ◇場 所 京都市勤業館みやこめっせ 第 3 展示場
- ◇内 容 ・シニアの暮らし情報コーナー (企業展) ・SKY サークル紹介  
・高校生横丁 (脳トレ、お茶のサービス、木工体験、健康づくり等)  
・スマホ何でも相談 ・趣味の体験コーナー など

ロ「SKY ふれあい作品展 2022」

- ◇開催日 令和 4 年 10 月 14 日 (金) ~16 日 (日)
- ◇場 所 京都文化博物館 展示室
- ◇内 容 ・シルバー美術展 (日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真)  
・SKY サークル作品展 ・企業 OB 作品展 など

ハ「SKY 多世代交流ステージ発表会 2022」

- ◇開催日 令和 4 年 9 月 17 日 (土)
- ◇場 所 京都パルスプラザ 稲盛ホール
- ◇内 容 ・SKY サークルや一般シニアグループの発表  
・高校生の発表 ・小・中学生のグループ発表 など

ニ「生涯現役社会推進プロジェクト・ボランティア活動見本市」

- ◇開催日 令和 5 年 2 月 23 日 (木・祝)
- ◇場 所 京都市勤業館みやこめっせ
- ◇内 容 ・シニアの社会貢献活動グループ、アクティブ団体等の紹介

③「情報誌 SKY 発行事業」

高齢者の健康づくり、生きがいづくり、仲間づくり、さらには地域活動への参画のきっかけづくりに資するとともに、健やか、快適、豊かなシニアライフに役立つ京都府等の行政情報等も満載した情報誌を発行する。

- ・発行時期 隔月 (奇数月) 発行
- ・発行部数 5,000 部
- ・配布先 公的機関、提携施設、会員等

## (2) 健康づくり・生きがいつくり・地域貢献関連事業

### ①「京都 SKY シニア大学開催事業」

高齢者の生きがいつくり、健康づくり、仲間づくりに資するとともに、地域社会の活性化を促す人材の養成と社会参加意識の醸成を図るため、シニア大学を開講する。

令和4年度は、「生涯現役社会推進プロジェクト」と相互に連携した社会貢献人材養成コースを設定するとともに、シニア大学が今後当センターの事業の柱となっていくように、受講生の一層の増大を図る。

平成30年度から進めている地域キャンパスについては、北部キャンパスを京丹後市で開講する。

◇開講期間 1年間（5～3月）

◇講座数 月2～3回（年間約26～28回）

◇募集定員 670名（令和3年度実数比95名増）

◇コース名 「歴史・京都学」「体験・地域活動」「健康・スポーツ」「京都見聞」「スマホマイスター（新）」「ガイドが魅せる京都（2クラス）（新）」「人生100年・探究心」「北部キャンパス（京丹後）」

### ②「人生100年シニアパワー結集事業」

#### イ「生涯現役社会推進事業」

地域のSKY生きがいつくり推進員、社会福祉協議会、老人クラブ、NPO等と連携しながら、高齢者が地域の担い手として活躍できるようにスキルアップ研修等を行うとともに、地域活動等とのマッチングを行い、高齢者の活躍を支援する。

具体的には、介護、運転ボランティア、車いすメンテナンス、農園芸など介護・福祉ボランティア関係の技能を身に着けるためのスキルアップセミナーを開催するほか、アートサポーター、パソコンお絵描き、紙芝居、朗読など子育て支援に参画する高齢者の育成並びに活躍の場の提供等にも積極的に取り組む。

また、令和2年度に30周年記念事業としてスタートした、地域貢献活動への参加意欲のある高齢者とボランティア団体等とのマッチングを行う「SKY ボランティア活動見本市」をSKYふれあいフェスティバル2022の一環として開催する。

#### ロ「SKY 地域活力創生事業（生きがいつくり推進員活動支援事業）」

人口減少・少子高齢化の進行により地域社会の過疎化・活力低下が喫緊の課題となっており、こうした課題解決の一助とするため、府内各地の生きがいつくり推進員をはじめ、市町村、老人クラブ、各種団体等の協力を得ながら賑わい創出など地域活力の創生につながる多様なイベント・事業を推進する。

具体的には、生きがいつくり推進員が主体的に企画・運営を行う自主事業や、お

こしやす京都 100 巡りウォーク事業等を実施する。

#### ハ「多世代交流促進事業」

主として高校生との交流を通じて高齢者の健康づくり・生きがいづくりを促進するとともに、高校生には社会貢献活動の貴重な実体験の場を提供する。

具体的には、生徒、地域の高齢者、介護予防サポーター、NPO 関係者等が参画し、健康体操や脳トレ、スマホ講習等の介護予防を行う「ねんりんサロン」を府立清明高校、府立峰山高校、府立大江高校で実施するとともに、府立木津高校と連携協定前のプレ事業を行う。

また、府立京都すばる高校、府立大江高校と連携して多世代交流バス研修を行うほか、SKY ふれあいフェスティバル 2022 における高校生横丁の運営や SKY 多世代交流ステージ発表会 2022 への高校生の参画をコーディネートする。

さらに府立京都すばる高校の全面的な協力を得て、脳トレ問題集を作成する。

#### ニ「SKY 学活セミナー開催事業」

令和 2 年度から北部地域に配置している SKY 地域駐在員の北部地域以外の地域への配置も視座に入れながら、これまで以上に京都市以外の地域での学活（学んだことを活かす）セミナーの開催に注力する。

セミナーのテーマとしては、シニアライフの充実に寄与する健康・生活・趣味関係の講座に加え、傾聴・手話・子育て・介護など社会貢献活動に繋がるセミナーとともに、スマホ活用講座など時々の高齢者のニーズに的確に対応するセミナーを積極的に開催していく。

#### ホ「サラリーマン・シニア社会活動支援事業」

シニア世代を対象に「健康・生きがい・仲間づくり」の場を提供するため、サラリーマン OB・OG の方々等で構成するイベント企画運営委員会を設置し、高齢者の視点に立った多彩なイベントを企画・実施する。

具体的には、ウォーキング、歴史散策、社会見学などシニア世代に関心の高いイベントを実施し、引きこもり防止と社会参加の促進を図る。

### (3) 相談・情報提供関連事業

#### ①「高齢者総合相談事業」

高齢者やその家族等が抱える生活全般にわたる悩み事等の相談に対し、相談者の思いに寄り添って懇切・丁寧に対応する。生活・福祉等に関する一般相談に加え、法律

(財産管理等)に関する専門相談にも対応する。

②「高齢者生活・福祉関連情報提供事業」

エンディングノートの販売・啓発、終活セミナー等への講師派遣、老人福祉施設等に関する情報提供、救急医療情報キットの提供、介護関連ビデオ/DVDの貸出し等を実施する。

(4) 会員関連事業

①「SKY サークル活動支援事業」

SKY センターの会員で結成されている文化系・スポーツ系のサークル・同好会活動に対し、ハード・ソフト両面から支援するとともに、サークル代表者でつくるサークルネットを通じて行われるサークル間の交流・連携を促し、高齢者の健康づくり、生きがいづくり、仲間づくり活動を活発化する。

②イベント参加型サービスの拡充

これまでの「お出かけハッピーパスポート」、「SKY手帳」等の会員サービスを見直し、シリーズで実施する京都一周トレイルめぐりや仏像彫刻セミナーなど土・日の事業実施を計画的に進め、多様なニーズに応えるイベント参加型サービスの充実を図り会員の維持・拡大をめざす。

③「SKY センター法人会員相互交流等事業」

SKY センターの事業活動に賛同し、支援・協力をいただいている法人会員に感謝の意を伝えるとともに、会員同士の相互交流の機会を提供するため、法人会員の集いを開催する。